

第2回 県立高等学校改革懇談会 『梁川・保原』

日時：令和 2年 1月28日 (火) 14:00～15:30

場所：梁川高等学校 会議室

福島県教育委員会

本日の進め方

1	梁川・保原統合校の方向性について
2	第1回懇談会でいただいた御意見について
3	今後の再編整備スケジュールについて

1

梁川・保原統合校の方向性について

急激な少子化

- 全県的な中学校卒業見込者数の減少
 - ・ 2017年から2028年間で約5,300人の減少
- 伊達郡・伊達市の少子化
 - ・ 10年間で中学校卒業生数が357人(41.9%)の減少
- 両校の定員充足率の状況（昨年度）
 - ・ 梁川 36.3%(29名)
 - ・ 保原 普 86.3%(138名) 商 55.0%(22名)

高校改革は喫緊の課題に

梁川高校

定員80名

- 普通科(2学級)

保原高校

定員200名

- 普通科(4学級)
- 商業科(1学級)

2023年4月開校予定

梁川・保原統合校（仮称）

定員：240名(6学級) 普通科

場所：保原高校校舎

キャリア指導推進校

地域の未来を担う人材を育成

- 生徒の幅広い学習ニーズに対応した教育活動の充実により、大学進学から就職までの進路希望を実現するために「キャリア指導推進校」に指定（県内21校）

普通科ならではの多様な学び

- 普通科の特色を生かす上でも商業の学びを継承しながら、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）の設置により、地域を支える核となる人材を育成

地域資源を生かした学び

- 地域資源を生かした体験的な学習と幅広い職業教育により、グローバルな視点を持った地域社会のリーダー育成や地域産業の核となる人材を育成

丁寧な学習指導と進路実現

- 両校における教育活動を継承し、少人数・習熟度別授業やアクティブ・ラーニング型の個に応じた丁寧な学習指導により、多様な進路希望の実現

ICTを活用した教育の推進

- ICT化が進む社会への対応力の育成、ICTを活用し、一人ひとりの習熟度に応じた学習（アダプティブ・ラーニング）による教育の質の向上

地域をフィールドとした
探究的な学びの導入
商業の学びの継承

普通科の特色を
生かした学び
コース制の導入

統合校ならではの
特色選抜の活用

地域のリーダー育成
地域企業における
就業体験・連携事業

主体的・対話的で
深い学びの実現

ICTを活用した
到達度別授業の実践や
国際交流

2

第1回懇談会でいただいた御意見について

第1回懇談会でいただいた主な御意見

統合校の特色化・魅力化について

- この学校でこそ、**自分の将来が切り拓けると思える学校**にしてほしい。
- もっと**進学に力を入れて欲しい**。
- 伊達市内だけでなく福島市内の生徒からも、**ここで学びたいと思える教育内容、学科名**にしてほしい。
- 生徒に前向きに選んでもらえる学校にするためにも、**分かりやすい学科名**がいい。
- **資格取得など即戦力として就職に結びつく**ようにしてほしい。
- **商業科はなくさない**でほしい。

第1回懇談会でいただいた主な御意見

統合後の新入生や在校生の対応について心配の声

- 統合は受け入れざるを得ない。両校とも地域と密着した取組をしてきたので、しっかりと説明し、**地域や同窓生の協力を得ながら進めてほしい。**
- 生徒が地域で活躍できる場があることが大切なので、**統合によって活動の場が狭くならないようにすべき。**
- 今まで梁川高校で行っていた手厚い指導ができなくなるのではないか。
- **小規模校のメリットを是非継承してほしい。**

コース制…普通科の中に、より専門的な学びができる科目を置いた「**コース**」を設置することで、幅広い生徒の学びのニーズや進路希望に応える学校のしくみ

〈コース制のメリット〉

複数のコースの中から、自分に合った**コース**を選ぶことができるので、より**進路希望**に沿った授業を受けることができる。

進学コース

“**地域の進学校**”として国公立大学等への進学を目指すコース

教養コース

きめ細かな進路指導により**地元企業への就職**を目指すコース

商業コース

商業の専門的な知識と技能を身につけ、**商業系の大学進学や就職**を目指すコース

コース名は仮称

進学コース

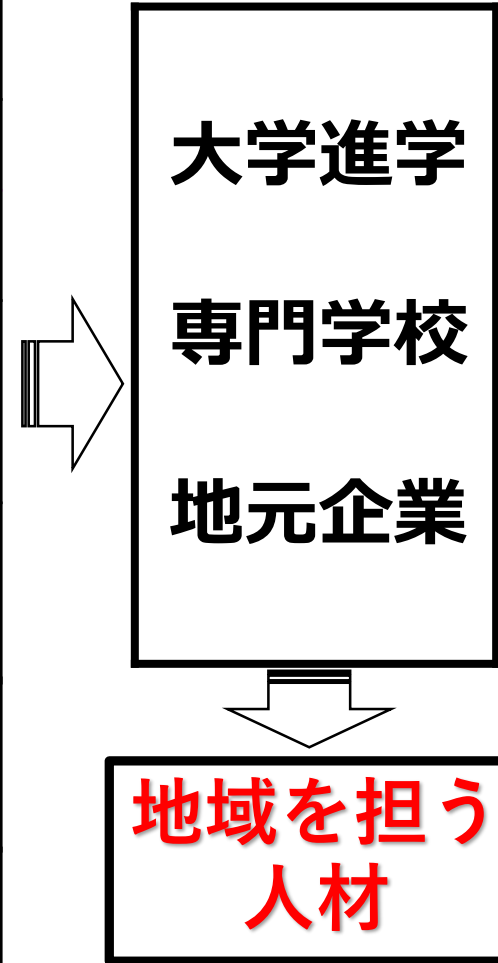
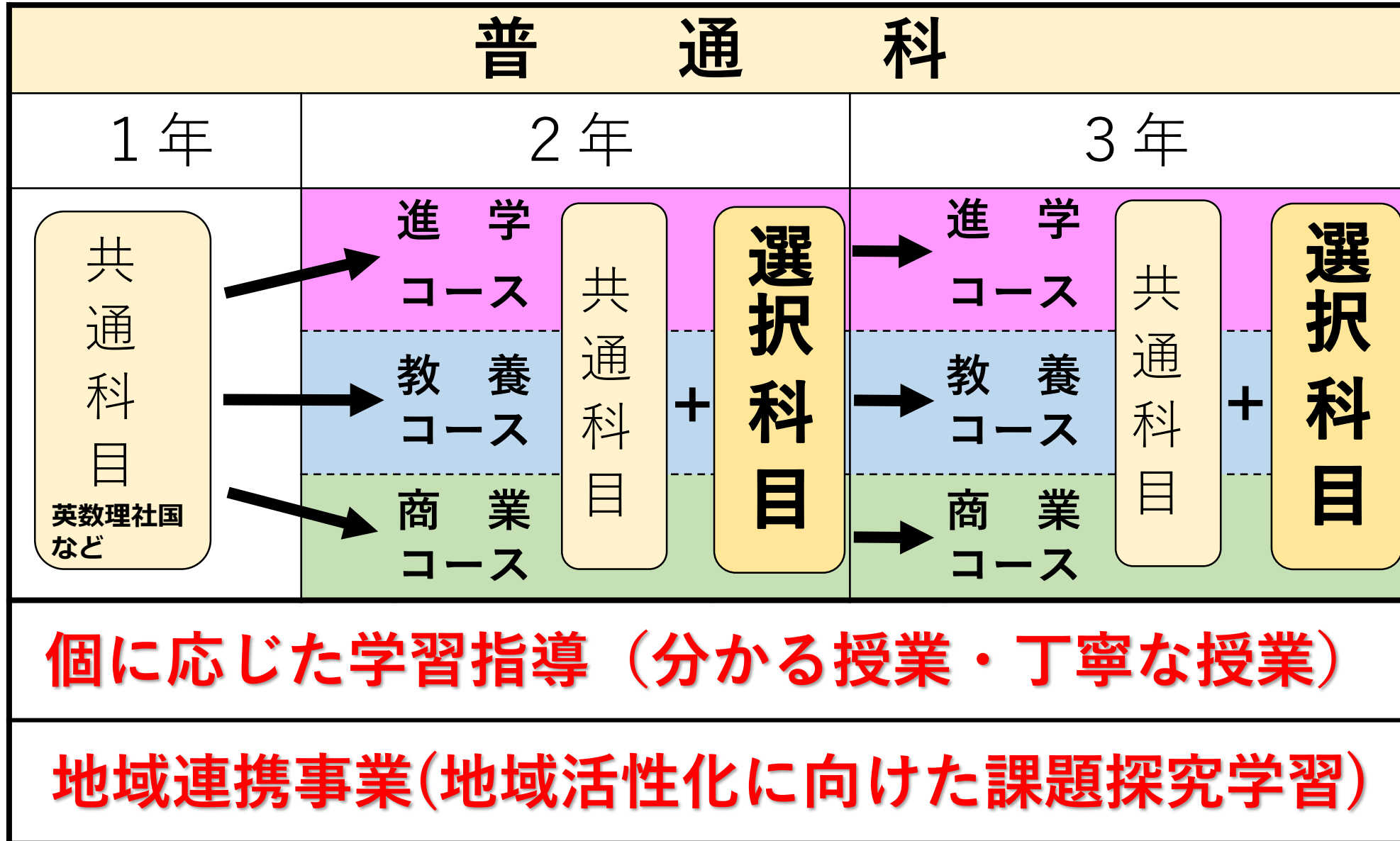
- ・ 福島大学を中心とした国公立大学の受験指導や推薦、AO入試について学ぶことができる
(四年生大学、短期大学など)
- ・ 子育てしやすい自治体を目指す伊達市や地元の医療関連施設と連携し、看護や福祉、食育など生涯にわたる健康づくりに関する知識と技術を学ぶことができる(看護・福祉など)

教養コース

- ・ インターンシップ等を通して、社会人に必要な教養を学ぶことができる。
- ・ 公務員や地元企業の就職に必要な一般教養科目のほか面接や作文について学ぶことができる

商業コース

- ・ 社会で即戦力となるような商業科目の修得や資格修得について必要な専門科目を学ぶことができる
- ・ 地域へのフィールドワークを通して地元の良さを知り、社会性やコミュニケーション能力を学ぶことができる。



ICT機器を活用した

- 「分かる授業」の実践
- 「主体的、対話的で深い学び」の実践

A1 教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

B1 個に応じる学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

B2 調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

C1 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

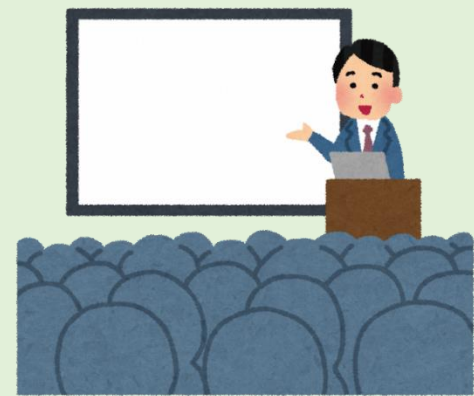
C2 協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

◎ 外部講師活用

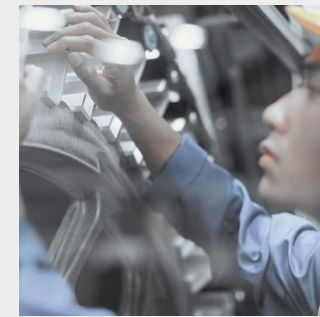
大学等上級学校と連携した
出前講座や講演会の実施



生徒の進路意識向上及び
進学への動機付け

◎ 地元企業と連携した体験学習

専門的な技術等の見学や
インターンシップの実践



望ましい勤労観・職業観の育成

統合校の特色化・魅力化④ 地域を学びのフィールドとした探究学習の実践（案）

- ・ 梁川や保原の地域に対する理解を深め、**伝統文化の継承**に関する学びの実践

伝統文化



地元特産品



- ・ 地域活性化など**課題**に対して**当事者意識**を持って取り組み、解決に向けて**主体的に他と協働**して取り組む力の育成



地元を知る



魅力発信

課題解決力、自己表現力、地域貢献、郷土愛の育成

統合校の特色化・魅力化④ 地域を学びのフィールドとした探究学習の実践（案）



地方創生★政策アイデアコンテスト2019 公式ウェブサイトより

「柿木・農地オーナー制度」や廃棄・規格外の柿の加工や再利用を通して、市の特産品である「あんぽ柿」の市場価値を維持・向上させる取り組みを提案。農業の活性化から、地域の持続的な発展につながる提案。



保原高校HPより

東北経済産業局長賞を受賞した保原高校の生徒

福島の高校生が、日本を元気にする。

令和元年度 まちおこし

ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト

福島県内に在学する高校生が主体のグループ(または個人)の社会貢献活動全てが対象です。ボランティア、復興、国際交流、まちおこし、製品開発など、地域や社会を良くしようとする活動は全て対象になります。ご応募お待ちしております!

製品開発

復興

ボランティア

国際交流

予選 (郵送・書類選考)

10/1(火) ▶ 10/28(月)

消印有効。予選結果は11月中旬に発表予定です。

本選 (プレゼンテーション)

12/15(日) 10:00~16:00

会場: 福島大学 (福島市金谷川1番地)

詳細は各高校に届いている応募要項、または「ふくしま学びのネットワーク」の公式サイトをご覧ください!
<http://www.fks-manabi.net/>

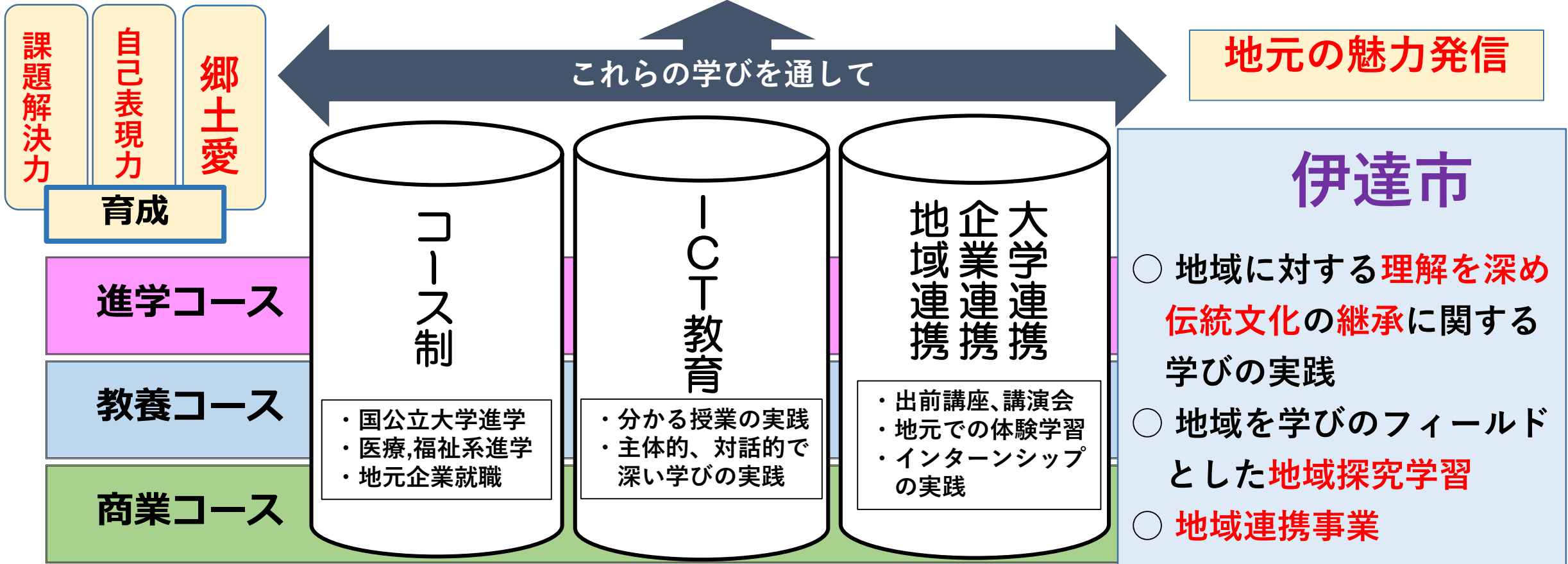
主催/福島県教育委員会
 一般社団法人ふくしま学びのネットワーク(運営事務局)
 共催/福島大学アドミッションセンター

県全体で地域創生を担う人づくりを推進

統合校の特色化・魅力化 (まとめ)

梁川・保原統合校の構想図(案)

地域を知ること、地域を思い、地域を支える人材育成



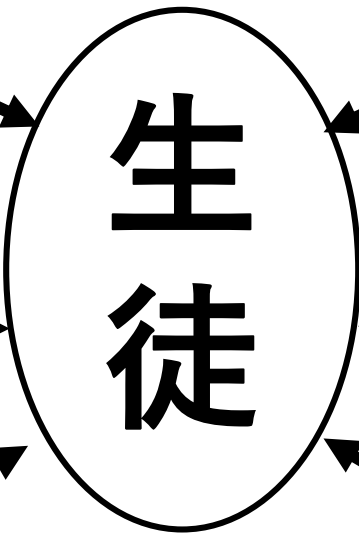
3つの柱を支える教育環境の整備

高校での内的支援

担任による面接週間・
個別指導・個別相談
各種アンケート
(いじめ・悩み事、学校評価)

スクールカウンセラー
学校医

特別支援コーディネーター
スクールソーシャルワーカー
教育相談チーム・ケース会議



きめ細かな学習指導

チーム・ティーチング授業
習熟度別授業

振り返り・学び直し
課題テスト

学習支援員・就職促進支援員

生徒一人一人に対して複数の専門の先生による支援

3

今後の再編整備スケジュールについて

統合開校準備スケジュール（案）

2019年度 (令和元年度)					2020年度 (令和2年度)					2021年度 (令和3年度)					2022年度 (令和4年度)									2023年度 (令和5年度)			
11	12	1	2	3	4	5	6	...	3	...	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
両校の教職員による教育内容検討委員会及び校内WG																											
統合校の教育方針・教育目標・教育課程等の検討・作成（6月） 統合校の魅力化・特色化の検討					8月 基本計画策定					統合校の校章・校歌・校旗の検討 統合校の校名の検討・公表					統合校の案内の作成			統合校体験入学実施			統合校入学者選抜			統合校 開校式 入学式			
														中学生への説明													
										2021年度入学生 【統合時3年生】					2022年度入学生 【統合時2年生】												